

## 第 13 回 特定非営利活動法人センスオブアース 市民による自然共生パンゲア (第 32 号)

センスオブアースは、人と自然の共存共栄を目指し、環境教育やまちづくり事業などに取り組んでいる NPO 法人で、2006 年度より学生が協働で事業を展開しています。

今、学校・家庭・地域が一緒になって生き甲斐として子育てをしていく、という日本の良き伝統が失われつつあります。一方で、日本は政治・経済的なカオスの時代を迎え、地域に自立的な都市機能更新、地域のブランド化が求められています。

そこで今回、共同で環境教育プログラムを開発し、出前授業を実施する取り組みを開始しました。地域に住む人々や児童の父母・学校・自治体などの力を借りて、子どもたちが地域の環境と自分たちの生活とのつながりを実感できるような授業を目指して日々邁進しています。

活動の主軸は次の 3 つです。

### 1.年間を通じた出張授業の実践

2007 年 5 月から 2008 年 12 月現在までに 5 種類の授業を 18 回行いました。ヤゴ救出作戦をはじめ、フードマイレージや豆腐作り、ネイチャーゲームなどを行っています。

### 2.プログラム作りのワークショップの実施

授業プログラムの作成のために毎月 1~2 回、これまでに合計 30 回以上のワークショップを行っています。教職経験者・社会人・学生が分け隔てない議論をしています。

### 3.授業内容に関する研修会の実施・参加

授業プログラム作成前に専門知識を学ぶ場として、研修会の主催や講習会への参加をしています。例えば、ネイチャーゲーム指導員の講習会へ参加し、それを発展させる形で 2 つの授業プログラムを作成し、現在 5 つの小学校での実践へとつながっています。

これらの活動には次の効果があります。

#### 【学校の先生・子どもへの効果】

日々授業で忙しい先生たちに代わり、準備の多さや安全管理など大変な面をサポートし、学校に体験型+座学の学びの場を提供します。

#### 【学生への効果】

一般に、小学校で授業できる機会の少ない大学生が、環境教育実習の機会を得られます。

#### 【地域・NPO への効果】

この取り組みをモデルとして、各地域の持ち味を活かした形で地域ブランド化へ取り組んでもらうことを目標に、これから現場での実践を重ね、開発したプログラムとその実践事例を全国へ発信していきたい、と考えています。環境プログラムの開発・普及や出張授業の実施、エコツアーの実施などにおいては、事務所のある板橋区内の小学校や板橋区エコポリスセンター、日本女子大学とも協働しています。興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう! 連絡をお待ちしています。

ホームページ <http://npo-soe.jp/index.html>

(学生代表 杉山佑里子)

